

特集

子ども心と 親ごころ

Psychology of Parents vs Children

わが子を支えたい思いは十分でも、いざ面と向かうと、単純にはいかないのが親子関係。お互い遠慮がないからこそ、ぶつかったりすれ違ったり、よかれと思ったことが裏目に出たり。進路選択は将来に向けた大事な話題だけに慎重に対応したいですね。ここからは、教育現場からのアドバイスも交え、親子コミュニケーションのヒントを紹介していきます。

Part1 わが子の進路観、つかんでいますか？

高校生の進路の決め方7タイプ

Part2 あなたならどうする！？

わが子のムカツク言葉と態度

アドバイザー



川合 正 先生

京北学園(京北中学校・高等学校、京北学園白山高等学校)校長。親子関係に関する研究・論文などで、読売教育賞最優秀賞等、多数受賞。日本カウンセリング学会認定カウンセラー。著書に『今、子どもたちが変だ 親子の会話を取り戻すために』(2001年)、『男の子がやる気になる子育て』(2009年)がある。



伊藤久仁子 先生

共立女子第二中学・高等学校教諭。中高のクラス担任や専門の国語科の指導に加え、健康保健部で養護教諭・スクールカウンセラーと連携して生徒の発達をサポートする心理教育プログラムを開発・推進している。第48回読売教育賞最優秀賞・第15回読書指導コンクール優秀賞受賞。研究論文や雑誌への寄稿も多数。最近では、キャリア意識を高める小論文指導に力を入れている。

調査でわかった 7タイプの 高校生像とは？

「高校生価値意識調査2009」調査概要
調査方法：質問紙による郵送法及びモニターによる定性調査
調査対象：高校生の男女
調査回収数：1273名(郵送法)、80名(定性調査)
調査実施期間：2009年4月8日～6月6日
進学や将来の考え方についての回答内容を分析し、8パターンの傾向を抽出。本記事ではこの分析結果より典型的な高校生像をモデル化して紹介。なお就職志望者の多かったパターンは除き7タイプとした。

わが子の進路観、
つかんでいますか？

高校生の 進路の 決め方 7タイプ

高校生ともなると、本音のところ、将来についてどう考えているのか、親にもわかりにくいもの。ここでは、調査よりわかった7タイプの典型像より、先生のアドバイスやサポートのコツをお届けします。

取材・文／荻原美佳 イラスト／佐原周平

わが子の内面をつかんで 的確なアドバイスを

いよいよ将来について真剣に考えるときが来たというのに、全然考えてなかったり、思いもよらない進路を言い出したり、意味不明なこだわりを見せたり……高校生ともなるとその心中は親にも理解不能。何をどうサポートしたらいいか、戸惑う保護者も多いのではないだろうか。

高校生は、いったいどんな判断から自分の進路を決めているのでしょうか。リクルートが行った調査によると、それにはある程度パターンがあることがわかりました。たとえば、全然オープンキャンパスに行こうとしない子どもでも、ある

タイプは有名度重視ゆえに学校の中身に関心がないからであり、また別のタイプでは、志望校を選ぶと自分の可能性が狭まるように感じてしまうからと、本音はまるで違います。子どもに響くアドバイスもまったく異なってきますね。

本記事では各パターンをわかりやすくモデル化して紹介しました。お子さんに似たいくつかのタイプから、わが子の本音や必要なサポートを探ってもいいでしょう。日頃大勢の高校生と接している川合先生、伊藤先生にもそのコツをうかがいました。進路選択にプラスになる関わり方を考えていく参考にしてみてください。

7タイプを分けた要素

地位上昇志向型因子

将来の大きな成功、有名企業への就職、出世、富などステイタスを重視

学生生活謳歌因子

学生生活、勉強以外の学び、可能性の広がり重視

夢・趣味を仕事型因子

将来、夢をかなえる、趣味や好きなことを仕事にすることを重視

まじめ勉強型因子

進学先で、学問や研究を充実させること、得意分野を作ること重視

ほどほど生活型因子

将来については高望みせず、そこそこの楽しい生活を送れることを重視

TYPE.2

夢を目指す気満々。でも今は部活に全力

プロ突進タイプ



進学・将来志向 スバリ内心は？

夢、勉強、学生生活…すべてに前向き

将来の仕事や生き方について、自分なりの夢・あこがれあり。将来の目標も、まだ漠然とはあっても、やるならばその夢でプロとして大きな成功までも取めたいとビッグスケール。進学にも意欲旺盛で、学生生活、勉強、サークル、バイト、何でも楽しもうというスタンスである。高校生の現在も、部活など何かのテーマに真剣に打ち込んでいるなど、要は何にでも前向きに取り組むタイプのキャラ。

進路選択の態度

全力投球体験を専門性につなげたい

夢はあるのだが、具体的なっていない子も多い。部活や友達づきあいなど全般的に行動量の多いタイプであるがゆえに、将来のことや志望校選びが後回しになっているケースも。とはいえ元来がポジティブなため、しだいに進路にも関心が。それまで打ち込んできたテーマの延長に将来の専門分野を見つけていく子も多い。高校生活で頑張った体験が生かせるためか、AO推薦、指定校推薦を志向する割合が高い。

このタイプ、どれだけいる？

男子の21% 女子の20.7%

●このタイプの日常生活

- ☐ 部活や趣味に全力投球中
- ☐ 部活後はファストフード店で盛り上がる
- ☐ 友達多め。携帯は通話でもけっこう使う
- ☐ 友達、兄弟、先生、親…誰ともよく話す
- ☐ SNSやブログの参加も積極的。テレビもよく見る
- ☐ 周囲の意見をわりとよく聞く

●編集部メモ「文化祭だったらこんなキャラ！」

壁にぶち当たってどんよりのクラスを、前向きパワーで復活させちゃうムードメーカー。

TYPE.1

偏差値重視、中身はほとんど調べず

ブランド重視タイプ



進学・将来志向 スバリ内心は？

他人からどう見られるかが一番大事

物事を考えるとき、自分が何をしたいかより、他者からどう評価されるかを優先するタイプ。だから夢を追うような生き方には興味なし。可能な限り高いステイタスの職業を、ジャンルに関係なく選ぶ傾向がある。進学も、そうしたステイタス（大企業への就職や出世）へのパスポートと考えているところがあり、入学さえできればあとは学生生活を大いに楽しみたいというのが本音。

進路選択の態度

受験勉強はしても進路研究は不熱心

学校の中身よりも有名度、評価（偏差値）が大事であり、また、自分の学力で届く限りの有名校に進学したいため、オープンキャンパスなどにはあまり積極的に参加したくない。時には、文理選択、学部・学科選択さえも、入りやすい優先で判断してしまうことも。早くから塾に通うなど一見受験には前向きだが、成績で目標が左右されやすいので要注意。センター利用入試、一般入試志望の傾向が強い。

このタイプ、どれだけいる？

男子の20% 女子の7.5%

●このタイプの日常生活

- ☐ 運動系・かっこいい系部活に所属
- ☐ 成績はわりといい、塾に通っている
- ☐ 遊びも人並みに行く
- ☐ ニュース・ゲーム・音楽…携帯サイトを使いこなす
- ☐ そのわりにメール好きではない
- ☐ 塾の先生を信頼

●編集部メモ「文化祭だったらこんなキャラ！」

準備中はちょいちょい雲隠れ。でも当日は目立つポジションでバッチリ決める、ちゃっかり者。

TYPE.4

今ハマってることを、将来もずっとやりたい

好きエンジョイタイプ



進学・将来志向 ズバリ内心は？

今好きなことができない将来は嫌

今好きなこと、やりたいことが非常に強くあり、今も将来もずっと浸っていたいという思いが進学や将来に直結。OL職など好きなことと関係のない仕事に反発する気持ちもある。たとえマイナーであっても、その世界に参加できること、自分が好きで楽しい毎日を送れることに価値を感じており、社会的ステイタスへのこだわりはない。だから進学先でも学生生活が毎日楽しいことはとても大切。

進路選択の態度

志望校の体験イベントに積極的に参加

熱中している事柄に関しては仲間との交流も情報収集も積極的。オープンキャンパスの体験プログラムにも低学年から何回も参加している子が多い。そのため進学先や将来の仕事知識もわりと早くから持っており、志望校を選ぶ視点も、実習・設備環境、在校生や先生の雰囲気など、非常に現実的。ただし、やりたいことに没れる楽しさを追求するあまり、学問の詳細や資格取得などに目が向かないことも。

このタイプ、どれだけのいる？

男子の8.1% 女子の14.5%

●このタイプの日常生活

- ☐ ファストフード店などで友達と過ごすことが多い
- ☐ 早く帰宅し趣味関係に没頭すること多い
- ☐ 塾に行きたがらない
- ☐ 雑誌をよく見る
- ☐ パソコンで趣味関係の情報収集。SNSや掲示板で仲間探し
- ☐ 両親ともよく話す

●編集部メモ「文化祭だったらこんなキャラ！」

ファッションなら任せて！
桃太郎の舞台衣装を、お気に入りビジュアルバンド風に。

TYPE.3

夢が明確。最善の進路を徹底研究

学者タイプ



進学・将来志向 ズバリ内心は？

決めた道を決めたとおりに実現したい

やりたいことや進みたい道に自分なりのこだわりがあり、そのために進学してみっちり学びたい、得意分野を作りたいという強い目的意識がある。将来に対しても、夢をかなえるのみならず大きな成功も得たいという高い目標がある。ほどほどであきらめず、苦勞に耐えてこつこつやり遂げることに関心するまじめな子が多い。ほかのタイプに比べて、学生生活にあまり関心を示さないのが特徴的。

進路選択の態度

最善の進路をマニアックに研究

高1夏休みからオープンキャンパスに参加するなど、学校研究に積極的。自分に最適な進学先をじっくり吟味して選びたがる。同じ学校を何度も訪問したり、学習指導方針や施設、先輩コメント、データまで詳細に比較するなど研究もマニアック。一方、思いが強すぎ、視野が狭くなったり、アドバイスを柔軟に受け止められなくなってしまう危険も。一般入試、センター利用入試希望者が多い。

このタイプ、どれだけのいる？

男子の10.8% 女子の10.1%

●このタイプの日常生活

- ☐ 部活を頑張っている
- ☐ 部活後に塾に通うなど勉強にも熱心
- ☐ あまり携帯を使わない、テレビも見ない
- ☐ 情報収集はもっぱらパソコンで
- ☐ 友達とつるむ時間は少なめ
- ☐ 将来の進路を父親に相談

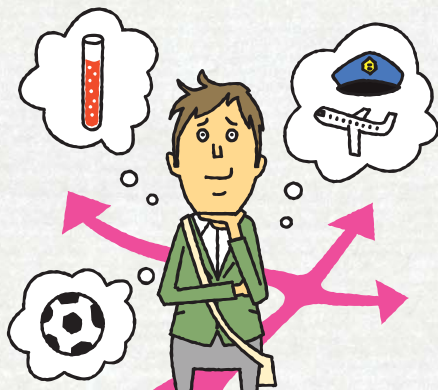
●編集部メモ「文化祭だったらこんなキャラ！」

模擬店メニューの味付けになぜか強いこだわり。
ほかの状況お構いなしに一人レシピ改善に没頭。

TYPE.6

未来を絞りたくなくて、進路研究が停滞ぎみ

自分探しタイプ



進学・将来志向 スバリ内心は？

夢はないけど、力は身につけたい

夢を見つけてかなえることにも、出世などの社会的ステイタスにもあまりあこがれはない。やりたいこと、得意分野を見つけない気持ちもあるにはあるが、必死で探すというより、いつか見つかるのでは？ 誰かが気づかせてくれるのでは？とやや他力本願な面も。進学することでそれが見つかることを期待している子も多く、入学後はまじめに勉強しようという意欲もほかのタイプに比べて高め。

進路選択の態度

決断が保留できる進路ならベター

進路選択して志望校や学部を絞っていくことが、むしろ自分の可能性を切り捨てることに感じてしまい、進路選択に躊躇しがち。周りよりかなり遅れ気味で取り組み姿勢が不熱心のように見えてしまうが、より多くの可能性が感じられる進路を選ぶという意欲はある。取得可能資格の豊富な学科や2、3年生に進級後、コース選択を行う学部などに関心を示す傾向あり。

このタイプ、どれだけいる？

男子の15.2% 女子の14.8%

●このタイプの日常生活

- ☐ 部活も遊びも人並み
- ☐ 一人で過ごすのは好きではない。誰かといたがる
- ☐ そのわりに友達付き合いはあっさり
- ☐ メール相手は多いが送信数は少ない

●編集部メモ「文化祭だったらこんなキャラ！」

自分から仕切ることはない。
言ってくればなんでもします、というタイプ。

TYPE.5

進学も将来も、そこそこ楽しく心地よく

おっとりタイプ



進学・将来志向 スバリ内心は？

無理せず、ほどほどに幸せがいい

夢のある生き方にあこがれてはいても、自分に自信もないし人と競うのも苦手で、積極的に進路に結びつけようとしな。社会的ステイタス、出世、富への願望もなく、何かに必死に頑張るより、無理せず自分らしくほどの幸せが得られればいいと考える欲のない将来観の持ち主。家族など身近な世界が何より大事。進学先にも気の合う友人や穏やかで楽しい学生生活を期待している。

進路選択の態度

自分と似たタイプが多いかどうか

オープンキャンパスに参加する子をもっとも多いなど、進路研究にまじめなわりに、将来やりたいことや学びたいことなどがあいまい。むしろ気になるのは、学校の雰囲気や自分が馴染めるかであり、キャンパスの雰囲気や在校生や先生、一緒に参加している高校生たちの様子などを密かにチェックしている。資格取得など将来役立ちそうな知識の取得には関心あり。指定校推薦を志望する子が多い。

このタイプ、どれだけいる？

男子の9.1% 女子の20.4%

●このタイプの日常生活

- ☐ 帰宅部が多い
- ☐ 放課後は仲のよい友人と二人でカラオケやファストフード店に
- ☐ 朝から晩まで頻りに携帯サイトにアクセス
- ☐ 携帯小説やブログ、SNS、写メが好き
- ☐ 友達と話し込むのが好き
- ☐ 人のものの見方、他人の感じ方に強い関心

●編集部メモ「文化祭だったらこんなキャラ！」

目立たないところを密かにフォローしてくれる頼れる存在。
最後の後片付けまできっちりと。

高校の先生に聞きました。 学校現場から見た 7タイプ

親、教師…周りの関わり方を見直すきっかけに

大変おもしろいデータです。確かにこういう生徒、いますよ。私は、「ブランド重視タイプ」「プロ突進タイプ」「好きエンジョイタイプ」のような直感、感情、感覚が強いタイプには、夢についてとことん聞いてあげるんです。「すごいね、それどういう仕事？」「どうすればなれるの？」。話をしていくうちにイメージが具体的にになり、進路のことも自分でいろいろ気づける。否定は反発を招くだけです。反対に「おっとりタイプ」「自分探しタイプ」「未成熟タイプ」は、自分の価値に気づかせたい。それには褒めることです。「学者タイプ」は頑張りすぎが心配。直前に不安やスランプに陥ったりするものこのタイプなんですよ。

保護者の方に考えてもらいたいのは、これらは生まれもった気質だけでなく、親の価値観や関わり方、出会った教師、友人……成長過程の様々な要因で育まれたものということ。だから今後の環境次第で変わる可能性もある。自身の関わり方も影響していないか、見直してみてもよいかもしれませんね。(川合先生)

未成熟タイプは心配ですが 関わり方次第で移行可能

うちは女子校ですがどちらかというと「好きエンジョイタイプ」と「おっとりタイプ」の割合が多い気がします。「好きエンジョイタイプ」は、どうなっちゃうの？と心配になるかもしれませんが、保護者の方も同じタイプでうまくいっているケースも多いです。「おっとりタイプ」は、親御さんが違うタイプだと向上心がないと感じるかもしれませんが、自分の個性をわかっていて安易に煽られないところは、むしろ今の時代に合っている気がします。心配なのは「未成熟タイプ」。こういう子は、動機はどうであれ「次の所属先」につなげたい。家が快適な子なので、行くべき所属先がないと家に居着きがち。安易な浪人は避けたほうがよさそうです。

とはいえ、タイプは決め付けすぎないでくださいね。血液型と違い一生同じではありません。今はたまたま「未成熟タイプ」でも、ちょっとした興味や自信で「おっとりタイプ」「自分探しタイプ」に移行していけるからです。親御さんの関わりがきっかけになるかもしれないので、ぜひ支えになってほしいです。(伊藤先生)

TYPE.7

とりあえず進学はしたいが特に目的がない

未成熟タイプ



進学・将来志向 ズバリ内心は？

将来にも進学にも、期待していない

夢をもとうとせず、社会的地位にもあまりあこがれず、将来について白紙の状態。それでもなんとかなる、ほどほどでいいと思っている楽観かつやや無気力タイプ。どちらかというと就職を先延ばししたい本音で進学を選択しており、勉強にも学生生活にもあまり関心がない。根底に、頑張っても大して変わらないという諦め感を抱く子も多く、前向きな意欲や欲求をもちづらくなっている。

進路選択の態度

ロコミで入れる学校、ラクな学校を発見

よりよい学校を目指して頑張るというより、今の学力で楽に入れる学校を探していたりする。そのため一般入試ではなく、公募推薦やAO入試に関心をもつ子も多い。一方内心では、入学後勉強についていけるか、止めずに続けていけるかを心配しており、自分に近い先輩や友人からのロコミ情報を信頼しやすい。進学や将来について相談する相手がいないと感じている子も多い。

このタイプ、どれだけいる？

男子の11% 女子の10.2%

●このタイプの日常生活

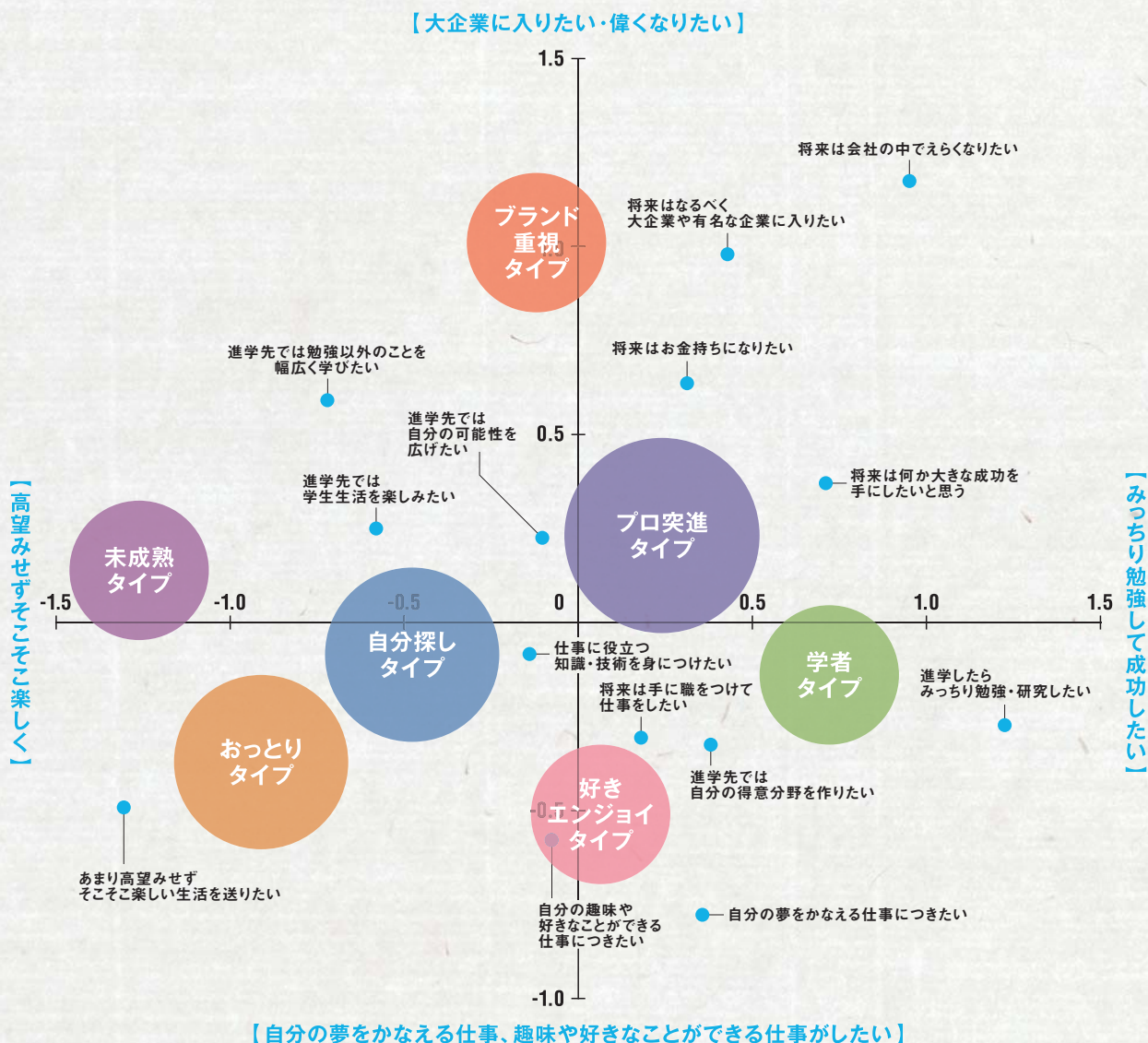
- ☐ 部活に所属していない
- ☐ 放課後はカラオケ、ゲーセン、地元の友達の自宅が多い
- ☐ 仲間といっても会話は少ない
- ☐ テレビ好き。携帯サイトを長時間よく見る
- ☐ 一日のメール送信数が多い
- ☐ パソコンはあまり使わない

●編集部メモ「文化祭だったらこんなキャラ！」

文化祭には来ない。

各タイプの 進学・将来への スタンス比較

価値観に関する質問項目への回答内容をもとに、「進学目的」と「将来志向」の2軸で表示した図。「自分探しタイプ」「おっとりタイプ」、そして進学目的の面でいえば、「ブランド重視タイプ」と「プロ突進タイプ」「好きエンジョイタイプ」はわりと近いタイプであることがわかります。「未成熟タイプ」は、夢や学びへの興味が増せば「おっとりタイプ」「自分探しタイプ」へ。同様に「プロ突進タイプ」の場合は、学びへの興味が増せば「学者タイプ」、社会的ステイタスへの興味が強まれば「ブランド重視タイプ」に移行していく可能性があります。



保護者は各タイプに
どう関わるべきか？

それぞれのタイプを読んだ感想はいかがでしたか？ まさにぴったりというケースもあれば、2〜3タイプの複合ケースもあるかもしれません。それでも大まかには、わが子がどのタイプかイメージできたのではないのでしょうか。

ここで大切なのは、そのわが子の傾向を、否定しようとしないうことです。保護者の考え方と違ったり、危なっかしいものの見方をしていたりするかもしれないませんが、価値観そのものを否定すると思わぬバトルになってしまうので避けたほうが無難です。それよりわが子のタイプの強み、弱みを把握して、子どもが興味を持つ、あるいは欠落しがちな視点から情報提供を行うほうが効果的でしょう。

また、タイプをあまり決めつけすぎるのも問題です。「生まれもった気質」というより、学校や家庭などでの成長過程が作用した部分も大きい（川合先生）、そして「血液型と違って、この先移行もありうる」（伊藤先生）からです。今後の親としての関わり方を見直しつつ、子どもの今後の変化にも気づけるようにしたいものです。

川合先生、伊藤先生のアドバイスにより、次ページに、各タイプのサポートのコツをまとめました。お子さまの進路選択に役立てていただければ幸いです。

タイプ別 保護者は サポート！ココを

TYPE.6

自分探しタイプ



本人も悩んでいるので 追い詰めないで

なかなか進路の話をしないと、つい「どうするつもり？」と催促してしまいがちですが、悩んでいるのは当の本人。せかすのは禁物です。進路を選択しても将来の選択肢が減るのではなく、その先でまた増えていくのだから心配ないことを伝えるとともに、「今どんなことに悩んでいるのか」を知るよう心がけましょう。状況がわかれば、社会経験者ならではの助言や学費の準備など、保護者がサポートできる場面も増えてくるでしょう。

興味をもちやすい話題

適性、診断・アドバイス、伸ばす、資格・技術、入学後選択制、選べる、豊富、得意分野がみつかるなど

NGな話題

目標、夢、やりたいこと、決断など

TYPE.4

好きエンジョイタイプ



現実もしっかり見るよう、 誘導

いつの間にか、一人でさっさと志望校を決めていたりするのがこのタイプ。自分の進路を積極的に切り開く姿勢は評価しつつ、万が一にも落とし穴はないか、大人の視点からも確認する必要があるそうです。仲間うちでの口コミに偏っていたり、学費が高額だったり、などのハプニングにも要注意。また、将来仕事に就くための資格取得など苦労や努力を伴う事柄、将来計画などについても一緒に確認しておくといよいでしょう。

興味をもちやすい話題

楽しい、豊富、実習内容、体験、学び方、在校生、著名人卒業生、仲間、グループなど

NGな話題

資格取得、試験、勉強など

TYPE.2

プロ突進タイプ



道を開く力は十分。 ゆっくり見守って

いつまでも部活三昧だったり、現実離れた夢を語ったり、周りはハラハラしがち。でも周囲の意識が高まればしっかり流れに乗れるタイプなので、大きな心で見守って。無謀な夢も否定したり冷やかしたりしないこと。「すごいね、どうすればなるの？」と話に付き合っただけあがたほうが、夢も具体化していきます。なかなか目標が見えないようなら「部活で一番頑張ったのは？」「なぜ頑張れた？」といった投げかけで自ら特質に気づかせて。

興味をもちやすい話題

一流、プロ、匠、優勝、成功、資格、カリキュラム、チャレンジ、在校生など

NGな話題

特になし

TYPE.7

未成熟タイプ



希望や自信に つながる声かけを

進学に対する姿勢の甘さが目につくこともあります。わが子が、少しでも前向きになった機会を大事にしましょう。たとえば友達が行くからと選んだ学校であっても、子どもが興味をもっている学校を否定するのは危険です。「その学校なら最後まで頑張れそう?」「○○の資格が取れるなんて、将来安心だね」など、将来への希望や自信につながる声かけで、前向きな気持ちを維持できるようなサポートを心がけましょう。

興味をもちやすい話題

難しくない、できる、丁寧にサポート、親切にフォロー、ラク、近い、バイト、出身校など

NGな話題

目指す、頑張る、カリキュラム、偏差値、試験など

TYPE.5

おっとりタイプ



価値観を尊重しつつ 背中を押して

保護者から見たら、優柔不断、目標が安易、「あの学校のほうがメリットあるのに」と納得のいかない選択を聞かされることがあるかもしれません。でも居心地感はこのタイプにとって譲れない価値観。そこはまず尊重したうえで、より実りのある選択になるようサポートしたいものです。一緒にオープンキャンパスに参加し、「先生の面倒見がよさそうだからやっていけそうだね」など、子どもの目線に下りて背中を押すのがよいかもしれません。

興味をもちやすい話題

少人数、居心地、先輩、友達、先生、仲がいい、あなたらしさ、丁寧な指導、サポートなど

NGな話題

勝つ、目指す、競争など

TYPE.3

学者タイプ



見守りつつ、 時には夢の再確認を!

自分でどんどん学校研究を進めてくれるのは頼もしい反面、いつの間にか客観的な視点を欠いてしまう心配も。しっかりしているお子さんほど、伴走者としての保護者の存在が欠かせません。会話のある家庭を心がけましょう。時折、「もともとなぜやりたいと思ったの?」など問いかけてあげること考えよう。また「ほどこでもいいのよ」といったゆるめのフォローをしておくことも有効です。

興味をもちやすい話題

専門家、権威、プロ、カリキュラム、専門、賞、資格、設備、実習、講師など

NGな話題

キャンパス、サークル、在校生など

TYPE.1

ブランド重視タイプ



視野が広がるような サポートを!

学校研究や情報収集なしに、子どもの世界のイメージで有名度を判断している場合も。保護者は大人の視点を引き出すサポートを。「○○氏もあの大学出身らしいよ」「○○大学は○○学部の教授がよくTVに出てるね」など、ステイタス感のある話題から具体的な情報をインプットしていくとベター。また、入学した学部が向いてなかったということのないよう、「その分野で一流になるには何を勉強をするの?」など問いかけてみて。

興味をもちやすい話題

就職先、一流、合格率、有名、学園祭、キャンパス、サークルなど

NGな話題

夢、勉強、研究、資格など